



わくわく 田原っ子 Part II

令和5年度 学校地域教育目標

やさしく、かしこく、たくましい「山坂達者な田原っ子」の育成

～心豊かでたくましく、自ら考え主体的に行動する子どもを育てる～

学校スローガン ◎自他を大切にしよう ◎考え進んでやってみよう ◎最後までがんばろう

縦割り班活動で田原小オリジナルミュージカルづくり始動！！

田原小学校では、『総合的な学習の時間』を中心に、地域のことを学ぶ学習が多くあります。これまでその学びを、2月の学習発表会で披露していましたが、今年度は形を少し変えて、ミュージカルで発表したいと考え、9月13日(水)から活動を始めました。「なぜ、ミュージカルなのか？」と声が聞こえてきそうですが、これからの教育の方向性や今の田原小の子どもたちの課題を見つめ直した時に、「協働することの楽しさ」「表現することの面白さ」「学びの発信で得られる喜びや感動」を私の専門である音楽を活かし、総合芸術を通して味わわせたいと思ったからです。また、小規模校だからこそできる取り組みだと思いました。

これからは、変化の激しい未来社会をよいものに変化させるために必要な資質・能力が求められます。つまり「変化を起こすために自分で目標を設定し、振り返りながら責任もって行動する能力」をつけていくことが大切になります。具体的には①新しい価値を創造する力 ②対立やジレンマを克服する力 ③責任ある行動をとる力を育てていく必要があるのです。児童の実態としては ○固定化された人間関係 ○友だちの持つよさをあまり知らない ○指示されたことは行動に移せるが、自分で考え進んで行動することに苦手意識がある ○集団での発表はできるが、個人の発表となると自信が持てない ○多様な表現方法を知らない ○感謝の表現があまりできていない ことがあげられます。そこで、子どもたちの身近にある田原地域の学習を柱に、国語・図工・音楽・体育の要素をもつ総合芸術を通して、次のような子どもの姿を目指していきます。

- ①縦割り班(3年生～6年生の異学年)で取り組む活動により、意見の異なる他者を理解し、共に考えをすり合わせていき、よりよいものを導き出す姿
- ②活動のゴールを見据え、自分たちで計画を立て取り組んでいく姿
- ③仲間と力を合わせることで、協働することの大切さや楽しさを感じられ、活動を最後までやり通す姿
- ④学習活動を通して、ふれあい、学び合い、教え合いから、地域やゲストティチャー、友だち(仲間)へ感謝する姿を目指します。

1学期の間に、縦割り班活動(オリジナルミュージカル)についてと、具体的な活動チーム(プロジェクト、げき、音楽づくり、合奏、大道具・小道具、ダンス)の説明をし、各自が希望するチームを選びました(希望通りにいかなかった児童もいましたが了解を得ました)。夏休み中に、5, 6年生のプロジェクトチーム4名の児童が、ミュージカルのテーマとあらすじを考えてくれました。それを基に、私の方でシナリオを作りました。そして、2学期になり3年生～6年生全員が動き出します。第1回目は、「チームの活動内容がわかり、2月までの目標を立てる」をめあてに活動を開始しました。児童も教師も、ほぼ全員が初めて取り組むことなので、先が見えないところもありますが、取り組むプロセスを大切に、力合わせ少しずつ形にしていき、田原小ならではのものが完成できればと思っています。取り組みの様子は、学校ホームページや学校通信でも随時お知らせいたします。2月の完成を楽しみにさせていただきます。



【音楽づくり】、歌詞にあった曲想をタブレットを活用して考えています。



【合奏】劇中に流れる「田原坂」を弾けるように練習しています。



【大道具・小道具】劇中で必要な物を出し合い、担当を決めました。



【ダンス】シナリオを読んで、自分たちの活動部分を確認しました。



【げき】登場人物がどのようなキャラクターなのかを考えて、配役を決めました。

【プロジェクト】それぞれのチームの活動状況取材して全校に発信するように決めました。